



## コーティング 友成 和史さん

# マイスター に聞く

79

クルマのボディをきれいな状態で保つため、新車などにコーティングを施すユーザーが増えている。コーティングとは塗膜の上に、保護層を形成することで塗膜を保護する技術。液剤塗布の前に、細かな傷などを平らにするため、下地処理としてワックス磨きが行われ、出さずに出るを左右する。

エムエーエックス（大阪府貝塚市）社長の友成和史さんは、16歳で仕事を始めて磨き一筋26年。今では九州の高松市メーカーから独フランクルトやパリ、北京など海外モーターショーにも招かれ、明間中の展示車メンテナンスを担当する。ヨ

「クルマのボディをきれいな状態で保つため、新車などにコーティングを施すユーザーが増えている。コーティングとは塗膜の上に、保護層を形成する...」

「かつて海外に単身出かけては現地の職人と腕を競った。丁寧に何度も同じ箇所を繰り返して磨く。タイヤは海外の職人とは大きく異なる。仕上がりの差は明白だった。『モノを大切に』という日本の文化と通ずるのではないかと自己分析する。」

「磨きには宇宙のような広がりがある」。仕上げたクルマがユーザーと喜びをともにする姿を思い浮かべながら、丹念に磨き上げる。クルマに向かうと「自分だけの世界が広がる」とも話す。塗装面に傷れ、光を当て

## 車の美しさ保つ「磨き屋」

塗膜の厚みから小さな傷の原因まで把握できるという。

「磨けるモノは何でも磨く」と、磨く対象はクルマに限らない。高級ホテルのバススタブ、大事な試乗車を目前にしたリニアモーターカー、水辺に飾るオブジェのラバーダックさえも磨き上げる。

2013年秋、東京モーターショーのある輸入車ブースには、友成さんとともに多くの同業者の姿があった。12年末に自身を中心に設立した日本コーティング協会のメンバーだ。

職人気質のコーティング業者が、ともに仕事をすることは前例がない。

「業界の健全な発展を指し、業者同士が仲良くしていくのが私の夢」。その夢に向けて着実に歩みを進めている。